

噴霧式種子イモ消毒装置

ミニフェックシステム

MINIFEC System

ジャガイモ種子消毒の革新、ミニフェックは噴霧式です。
浸漬方式に比べて消毒効果を損ねることなく、薬剤使用量が少ないため、環境への負荷を低減します。

ミニフェックシステムの特徴

1. 効果：種子の裏表にムラなく噴霧

- 間欠噴霧式ノズルがローラーコンベア上の種イモに薬剤を噴霧します。
- 常に新鮮な薬剤供給により、消毒効果の低下がありません。
- 噴霧後の乾燥が早いいため、病害感染拡大を防ぎます。
- 間欠噴霧は、薬剤のノズル詰まりの心配がほとんどありません。

2. 経済性：少ない薬剤量で消毒

- ミクロの粒子が種子を覆うため、薬剤使用量は種イモ 1 トンに対して、希釈液 0.5~6 リットル程度です（使用濃度によります）。
- 浸漬方式のように大量排気する残液が発生しません。

3. 機能性：使いやすさを追求

- 液剤、水和剤、乳剤、フロアブル、微生物製剤等、多くの製剤に対応します。
- 必要な処理量に合わせてラインを構成できます。
- 既存の種子消毒ラインを変更して配置できます。選別ラインに配置することが可能です。



特徴
1

農薬使用量がドブ浸けと比較して大幅に減少致します。

特徴
2

消毒薬の薬剤廃棄の大幅な減少に貢献致します。

特徴
3

どのような選別ラインにもフィットした、フレキシブルな設計が可能です。

ミニフェックシステムは日本で唯一、噴霧式種子消毒において公式の試験成績（長崎県農林技術開発センターによる）を有する種子消毒装置です。現行の希釈基準での効果を確認していますが、高濃度の農薬適用拡大の試験を継続実施しています。



ミニフェックシステムのご用命は下記まで



株式会社 TOMTEN（トムテン）

〒080-0801 帯広市東 1 条南 7 丁目 2 番地 1

TEL&FAX : 0155-67-5991 E-mail : tomten_ltd@kvp.biglobe.ne.jp

ミニフェックのシステム概要図

ミニフェックコントローラー

